4月1日付で市職員142人が異動しました

職員数は一般職と消防職を合わせて468人に。平成17年の合併時から147人減

市職員の人事異動が4月1日付でありました。課長級以上の異動は次のとおりです。また、今年度の新規採用職員は14人で、3月31日付で3人が退職しました。市長や副市長、教育長などの特別職を除く一般職の職員数は468人。平成17年の1市2町の合併時から147人減りました（かっこ内は前所属）。

■部長 ▽総務部長＝松永久（産業経済部長（兼）大和庁舎長）▽市民部長＝古賀和明（税務課長）▽建設部長＝目野隆広（都市計画課長）▽産業経済部長（兼）大和庁舎長＝山田秀太（観光課長）▽会計管理者（兼）会計課長＝田中勝裕（財政課長）▽議会事務局長＝徳永喜美香（議会事務局次長（兼）議事係長）▽消防本部消防長＝田島雅彦（会計管理者（兼）会計課長）

■課長 **【総務部】**▽人事秘書課秘書室長（兼）秘書係長＝横山章（人事秘書課長補佐）▽人事秘書課付有明生活環境施設組合（課長補佐級）＝樺島貴信（人事秘書課付有明生活環境施設組合（課長補佐級））▽財政課長＝野口貴光（生活環境課長）**【市民部】**▽税務課長＝本木直文（税務課長補佐（兼）諸税係長）▽生活環境課長＝木下康治（人事秘書課付有明生活環境施設組合（課長級））**【保健福祉部】**▽子育て支援課長（兼）地域子育て支援拠点施設館長（兼）こども家庭センター長＝小池由希（子育て支援課長（兼）地域子育て支援拠点施設館長）▽人権・同和対策室長＝荒巻良二（学校教育課長補佐）**【建設部】**▽建設課長＝古賀正光（建設課長補佐（兼）国県道河川係長）▽都市計画課長＝梅崎慎司（都市計画課長補佐（兼）都市計画係長）▽国土調査課長＝古賀洋二郎（建設課長）**【産業経済部】**▽商工・ブランド振興課長＝乗富和也（農業委員会事務局長）▽観光課長＝津留秀光（人事秘書課長補佐（兼）秘書室秘書係長））**【教育部】**▽学校教育課首席指導官＝中村学（福岡県（割愛））▽学校教育課主任指導主事＝笹渕恵（同課長補佐級）**【議会事務局】**▽議会事務局次長（兼）議事係長＝森康貴（議会事務局次長補佐（兼）庶務係長）**【大和庁舎】**▽農業委員会事務局長＝白谷雄一郎（生活環境課長補佐）

■退職（係長以上）▽消防本部消防長＝松藤敏彦▽教育部学校教育課首席指導官＝野中裕二▽産業経済部農政課長補佐＝高口佳人

■新規採用（かっこ内は所属課）下の写真前列右から▽田中翔大（企画課）▽稲荷田聖洸（生活支援課）▽大橋真実（同）▽山田伊久江（商工・ブランド振興課）▽柴田礼（健康づくり課）▽沖田純佳（企画課）▽島添貴文（生涯学習課）。後列右から▽原田大地（生涯学習課）▽鈴木遼太朗（同）▽中村悠真（建設課）▽佐々木洸芽（上下水道課）▽山田将太（観光課）▽石橋雅也（消防本部）▽磯村俊喜（同）

【問】市人事秘書課人事係（☎77・8403）

フレッシュな力で柳川を盛り上げることを誓った14人の新規採用職員。若い戦力に乞うご期待

江島副市長就任、橋本教育長再任のごあいさつ

3月の市議会定例会で江島副市長の就任と橋本教育長の再任が可決されました。任期は4月1日から江島副市長が4年間、橋本教育長が3年間です。

市職員と一緒に汗を流し「おもてなしの心日本一」目指す

江島 宏和（49歳）

【略歴】平成11年福岡県採用。平成29年4月商工部中小企業振興課地域経済係長。令和4年4月保健医療介護部保健医療介護総務課ワンヘルス総合推進室室長補佐

4月1日付けで、副市長に就任しました江島宏和です。柳川市の副市長に迎えていただいたことを大変光栄に思うと同時に、その職責の重さに身の引き締まる思いです。

柳川市は、高校時代を過ごした思い出深い土地です。柳川には、市民の皆様のご協力により美しく保たれている掘割のある風景や、文化の薫り高い風土があります。また、豊かな土地や有明海から採れる多様な農水産物、これらを活用した柳川ブランド認定品の開発、そして柳川藩初代藩主立花宗茂公と閨千代姫のＮＨＫ大河ドラマ招致活動の取り組みなどにも大きなやりがいを感じております。

このたび、このような魅力あふれる柳川で、仕事をさせていただく機会をいただき、深く感謝しております。

もとより微力ではございますが、これまでの行政経験を生かして、市職員と一緒に汗を流し、金子市長を補佐し、「おもてなしの心日本一」を目指して、「住んでよし、訪れてよし」のまちづくりの更なる推進に向け、誠心誠意努力してまいります。

教育行政の充実・発展へ誠心誠意取り組む

橋本 秀博（63歳）

【略歴】昭和63年福岡県教職員採用。平成18年4月教頭。23年4月矢ヶ部小学校校長。令和3年3月定年退職。同年4月皿垣小学校校長（再任用）。令和5年4月から市教育長

このたび、3月議会で教育長として再任いただき、改めて職責の重さを感じております。

教育長に就任してからの1年間、「ふるさと柳川を愛し誇りに思う子ども」の育成に向けた小学校や中学校への指導・支援はもとより、社会教育や歴史文化振興の場などになるべく出向き、実態把握と課題解決に努めてまいりました。

再び教育長として仕事ができる機会をいただきましたので、もとより微力ではございますが、今後はこれまでの経験を礎に市政の一翼を担う教育行政のさらなる充実と発展のために、誠心誠意、努力してまいります。

市の大きな課題の一つに、次世代を担う人材の流出や人口の減少があります。その課題を克服するためにも、「ふるさと柳川を愛し誇りに思う子ども」の育成は大切であり、義務教育の使命です。「子どもは柳川市の宝」を合い言葉に、家庭、地域、そして学校が連携し、子どもたちの夢を育む柳川の教育を創造していきたいと思っております。